

「防災特別授業を受けて」

一年二組 中野 拓也

早大防災教育支援会の塚澤さんの授業を受けて、分かりやすかったのは、地球の構造を卵に例えて説明してもらったところと、同じように地球の表面のプレートのことをカラとものに例えていたところです。これなら、自分達よりも小さい子供にも分かりやすいと思います。小さい子はプレートがどうのこうの言われても分かりにくいと思います。それを卵

という身近な物に例えたことで、かなり理解できると思います。インドネシアが地震の多発国だということに防災に関する知識があまりないということを今日初めて知り、あきれるというか、どちらかというところ、きちんとかい感情になりました。そんな地震があったなら、一部の地域は昔にあつた事件を教訓にし、被害が少なかったそうですが、やはり何故全土にそれが伝わらなかったのか、過去の同じようなことがあつたのではないかと疑問

に思いましました。しかし、この前のスマトラ沖地震でインドネシアの人々も色々なことを学んだと思います。日本でも津波にあそおれた（スマトラ沖地震とは別に）地域もあるみたいですが、その地域には教訓として残っていると思います。本州ではあまりないのだから、常に天災に備えているところは多いと思います。また、日本人ももっと防災の知識を高め、それを国内だけでなく、国外とも共有していくことが大切だと思います。今日はどうも

ありがとうございました。